

# 第1学年「国語」学習指導案

授業者 芥川 元喜

2月18日(木) 1階D室 10:00~10:40 話し合い10:55 ~11:45

## 1 単元名 「夕日のしずく」

## 2 単元について

単元目標	物語の描写を感じ、登場人物の気持ちを考える。
------	------------------------

物語文『夕日のしずく』は、「きりん」と「あり」の二人の会話を中心に描かれている。大きなきりと小さなありを対比的に描き、それぞれの世界をそれぞれが体験し、そこから生まれるあたらしい世界をそれぞれの視点からあまんきみこさんらしく優しい表現で描かれている。

物語文の読みの学習では、2学期から物語のなかの疑問や不思議をみんなで考え、読んできた。今回も、みんなの疑問や不思議だなと感じたところを、いっしょに考え、読み進めたい。

子どもたちが不思議に思う場面としては、「ありは、きりんになにかいいと思ったのに、なぜことばが出なかったのか」、「きりんは足もとになにかをみつけたのか」、「なぜ夕日のしずくという題名になっているのか」などが考えられる。こうした子どもたちの疑問から、本文を読みたい。様々な読みとりが生まれる場面でもある。こうした友だちとの感じ方や読みの違いを聴き合い、感じ合い、様々な読みが交錯する面白さを子どもたちに感じてほしいと考える。

## 3 学習指導計画(全9時間/7時間目)

- ① 音読を楽しみ、初発の感想・感想を交流する(1時間)
- ② きりとありの性格や特徴を考える(2時間)
- ③ 場面展開を考える(2時間)
- ④ 不思議なところ、疑問をみんなで交流する(2/3時間)
  - ・みんなの疑問や不思議をみんなで考え合う。
  - 「ありは、きりんになにかをいいなかったの?」【本時】
  - 「きりんは足もとになにかをみつけたのかな?」
  - 『夕日のしずく』ってなに? どうして題名にしたのかな?
- ⑤ 好きな場面、お気に入りの場面を紹介し合う、終わりの感想を交流する。(1時間)

## 4 本時の学習について

### (1) 本時のねらい

友だちの考えをよく聴き、自分の考えを持つ。

### (2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点	
1 音読 2 本時の課題について確認する。 <table border="1" data-bbox="159 1545 667 1653"><tr><td>「ありは、きりんになにかをいいなかったのかな?」</td></tr></table> 3 考えを交流する。 <ul style="list-style-type: none"><li>・それぞれの考えについて質問したり、意見したりして話し合う。</li></ul> 4 自分の考えについて振り返る	「ありは、きりんになにかをいいなかったのかな?」	○本時の場面の確認 ○課題の確認  ○それぞれの考えを伝え、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"><li>・いろんな捉え方があることに気づかせたい。</li><li>・異なる読みの違いについて気づかせたい。</li></ul> ○意見交流の中からいろいろな気づきを生み出したい。 <ul style="list-style-type: none"><li>・多様な読みを感じ合いたい。</li></ul>
「ありは、きりんになにかをいいなかったのかな?」		

### □授業後の話し合いで話題にしたいこと

1年生の物語文の学び方について相互交流したいと考えています。